

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドウィッシュ豊橋 (チャイルドハート東海豊橋)			公表日	2026 年 1月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	二つの部屋を運動する場所、微細運動や勉強をする場所に分けて活動に使用している。	狭い部屋に児童が密集しないように運動遊びを多く取り入れるようにしている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9	0	法令に基づき職員配置をしている。また利用人数によって調節している。	安全を第一とし、法令に基づき職員を配置している又はそれ以上配置している
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	6	事業所が2Fであり段差は数か所ある。安全確保の為、階段の昇降は指導員と一緒に進行。また、ワンフロアになっているので死角は少ないが角があるので保護している。	階段での昇降は転倒のリスクはあるので注意が必要。屋外活動が多いので危険箇所を事前に把握し安全を優先する
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	運動ができる場所、落ち着いて過ごす場所はある	一体化しているので困りが必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	個室が少ないので体調不良児やクールダウンする部屋が確保できないので部屋の一角を囲い使用している	個別部屋の確保ができないので事務所を使用する
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	9	0	MTGの際、職員間で情報共有をして振り返り、改善点を話し合っている。	日報や支援記録をいつでも閲覧できるようにしている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎年11月に保護者様向けの評価を頂き、問題点などを挙げ職員間で周知改善をしている。また、結果を保護者様へ報告している	課題や改善すべき点を職員間で話し合い改善に努めている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	昼のMTG時に指導員間で情報を共有し当日の利用者に合わせた活動内容を話し合っている。その他社内研修、社内MTGでLINEなどで共有をしている	出勤していない職員はLINE、日報で周知する
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3	外部評価は行っていない。	必要な場合検討したい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	社内での研修を月に1度行う。またチャイルドグループ主催の研修や会議に参加、その他外部研修には積極的に参加している	非常勤勤務の職員にも積極的に受講できるようにしていく。また参加した職員から伝達してもらい共有する。
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	チャイルドグループのホームページに公表されている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	アセスメントシートを元に作成している。又、作成した計画書を保護者に確認してもらい同意を得た上でサービスを行っている。	日々の支援の中で計画書を作成する課題が見つかることもある
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	MTGの中で話し合いをしたり、日々の活動のなかで気が付いたことを話し合い情報を共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	見直しをしながらその都度職員間で情報を共有している。	利用者が中心となるよう職員間での話し合いをより濃く行うようにしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	作成するツールは統一している。	変更がある場合はその都度話し合いを行う。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	5領域に沿って計画書を作成している。	「提供すべき支援」を踏まえながら5領域に従って設定している。また、本人支援以外にも「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」も具体的に支援内容も設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	昼のMTG時に指導員間で情報を共有し当日の利用者に合わせた活動内容を話し合っている。	利用者からの意見も取り入れている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	同じ内容が続かないように日報や計画書を見ながら利用者にあった遊びや活動を行っている。	利用者からの満足感を得られるように日々検討している。

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	状況に合わせた支援を行っている。活動内容を職員間で共有して役割分担をする。	個別指導が必要な利用者に対しては専門職員が着いて対応している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	その日のMTGで職員同士話し合い、ヒヤリハットや改善点を話し合う。	話し合った内容を日報に記録し全職員が閲覧できるようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	翌日の職員間で共有している。休みの職員に対しては日報やLINE等で共有している	長期休日（夏休み等）は時間が限られているので話し合いの時間が限られてしまう。共有LINEにて伝達することもある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	支援記録に記載している。	振り返り改善の有無を判断し、必要であれば改善している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	半年に一度モニタリングシートを用いて保護者と面談を行っている。	面談時に情報共有し話し合いの中で変更、見直しを行っている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	公園での活動時や土曜日のイベントで地域交流を図るようにしている	休日にはイベントとして4つ「創作活動」「自立のための活動」「地域との交流」「余暇」を含め実施しています。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	利用者の意見を聞きやりたい活動が出来る環境を作るようにしている。	利用者の年齢や人数によって変更する場合がある。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	児童発達管理責任者が出席している。	必要があれば他指導員も同席する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	相談支援専門員を通してしている。	日報や支援記録に残して閲覧できるようにしている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	4	利用者の送迎時、学校への迎えの際に学校での様子を聞いたり情報交換する機会を設けている。必要であれば学校内で担当者会議を開催する	送迎時に可能な限り伝えるようにしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	新しく入る利用者の在園していた保育園、幼稚園、こども園、児童発達支援事業所に情報を得ている。	入所前に情報交換をするようにしている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	要望があれば支援内容等の情報を提供している。	相談支援専門員を通して提供している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4	研修は積極的に参加している。また研修で得た知識はMTGで職員へ共有している。	参加出来ない時は後日資料を確認している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	計画的に行っていることはないが、公園利用時に一緒にあそぶことがある。	安全に配慮している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1	開催時に積極的に参加している。	日程を調整して参加できるようにしている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	活動記録、送迎時や電話で保護者にも伝達している。	職員の偏りがないようにしている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6	面談や担当者会議などで相談を受けた際はその都度話を聞きながら家庭向けの情報を提供している。	県や市から送られてきている家族向けの研修などの情報を提供している
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	運営規定や利用者負担等については契約時に説明をおこなっている。	変更のあった場合はその都度書面で説明し署名をもらっている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	利用者とのやりとりや保護者との会話の中から意見を取り入れている。	作成時に会話での内容を取り入れている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	計画書を作成後、保護者に到達、確認してもらった上で実践している。	変更があればその都度話し合うようにしている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	3	日々コミュニケーションを取って相談しやすい環境づくりを行っている。	必要な時は面談や助言を行っています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	9	過去に開催したことはあるが現在は開催していない。	保護者からの意見や要望があれば検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情はどのような場合でも真摯に受け止め、迅速に対応を心がけている	記録を残し翌日のMTGで職員間で共有し再発防止に努めている
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	毎月Instagramや通信にて情報を発信している。また、チャイルドグループHPでも発信している	定期的に発信し様子が分かるようにしている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	写真撮影やSNSで掲載する際は保護者に説明、許可を得た上で使用している。またNGの場合は最善の注意を払い写真に映らないように配慮している。また、秘密保持を職員間で共有している	入所前に写真の使用許可を得る。得られない場合はしっかりと配慮し映らないように対処している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	一人一人の意見を尊重して伝えるようにしている。	文面やLINEで伝わりにくい場合は直接電話でのやり取りで伝えるようにしている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	こちらからは開催していない。	必要な場合は検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	各マニュアルに従い訓練を行っている。またその都度記録を残し情報共有をしたのち、改善策を話し合う。	年間を通して毎月マニュアルの整備や研修を計画を立てて行っている。また、年度始まり書面に各利用者ご家族へ配布している
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	BCPを策定し、2回/年以上訓練を行っている。非常災害（火災、地震、津波、浸水、雨水出水）を想定し避難訓練を行っている。	避難訓練、消火訓練、通報訓練、救急対応、雨水出水時の避難、不審者対応、送迎者の見落としを想定し訓練を行っている。その旨を記録している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	利用開始時、てんかんやアレルギー、発作、喘息等を確認し、職員間で周知している。	それらが発生した時に冷静に対応できるように常に子供の状態を把握し、変化を見逃さない様にしている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	3	現在はアレルギーを持つ児童がいない為、主な行動はとっていないが研修などで対処法を学ぶ機会を設けている。	緊急時の対応が出来るように職員間で情報を共有している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全計画を作成、見直しを行い、職員間で研修、訓練を行い周知している。	計画を持って話し合いながら、その都度安全に対する意識を高めていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	ホームページにて掲載している。	変更があればその都度連絡するようにしている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	記録に残し後日MTGで情報を共有、改善策を話し合い、再発防止に努めている。	出勤していない職員は後日日報にて確認、周知していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	マニュアルに沿って研修を行い、その都度改善点を職員間で共有している。（職員へアンケートを実施）	定期的な研修を強化し虐待への意識を高める。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	マニュアルに沿って職員間で研修を定期的に行い、それに基づき「個別支援計画」へ記載し、保護者への説明署名捺印を頂いている。	研修の中で身体構想への理解と重要性を深め職員間で共有するようにしている。	

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	チャイルドウィッシュ豊橋 (チャイルドハート東海豊橋)
------	-----------------------------

公表日 2026年1月27日

利用児童数 28人

回収数 19人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	4	0	0		狭い空間でもできる運動遊びや活動を行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2	0	4	わからないが、職員さんの男女比が同じくらいでありがたい	法に基づいて基準配置しています。どちらのお子さんにも対応できるように配慮して参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2	2	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	15	2	0	2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	2	0	3		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	2	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	2	0	2		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	2	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	4	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	2	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	14	0	2	機会があったら嬉しい	公園で遊ぶ際は同じ遊びをしたり情報交換が出来るように関わりを持っていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	2	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	3	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	3	0	2	送迎の時に子供の様子を教えてくれるので安心です。	全てではないですがお伝えできる機会を作っていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	2	0	1		LINEや連絡ツールにてお伝えしていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1	0	2		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	3	0	10	6	あったらいいなと思う。	ご家庭の都合も踏まえて検討していきます。また相談事は常時受け付けています。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	3	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	2	0	1	色々なところに行けて楽しそうです。いつもありがとうございます。	そう言ってもらえて嬉しいです。これからも情報の発信をしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	0	3		顔写真などの取扱いには十分注参して参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	3	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	2	0	1		避難訓練は半年ごとに行っています。保護者様への周知をこれからしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1	0	2		安全計画を持って安全の確保を継続していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2	0	1		事故発生時には速やかに報告、連絡を行い職員間で再発防止に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	2	0	0	毎月のイベントを楽しみにしています。	運動だけでなく地域との交流も多く取り入れていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1	0	0	同じイベントではなく飽きないように色々なイベントを考えてくれて助かっている。	楽しんで頂けるようこれからも色々なイベントを用意して参ります。